

## 自動運転

（市民）

- 自動運転バスの議案が否決された。今後はどうなるのか。
- 自動運転については、他市や民間企業の開発事例を参考にすべき。

（議員）

- あくまでバス購入の議案が否決された。今後は、本田技術研究所と和光市が提携して進める方向。今後のことはまだ発表はされていない。

## 議会改革

（市民）

- 議会改革について、議員間討議について、2年前の議会体験会で今の任期で行うとの話があった。議会改革で申し送りもされているが、今期は会派提案となっている。議員間討議が今後すすめられるのか。
- 議会体験会で、当時の議長は議員間討議を行うと回答していた。
- 議員間討議をやるとの回答であった。進んでいない。
- 議員報酬の引き上げが行われた。令和7年12月の報酬審議会の答申では、報酬改定で議員定数について、「和光市の現在の議員定数は18人であり、一議員あたりの市民人口は、他市と比較すると少なく、報酬見直しには議員数の観点も必要ではないかという意見がありました。」とあるが、議会としての取組について伺う。

（議員）

- 議員間討議について、会派提案となったが、改めて意見を求めたところ会派提案となった。
- 今回は進める方向となり、議員全員で所沢市に研修に行った。いきなり始めるのではなく、ルールをしっかりと作っていくこととして、ルールができ次第行うこととなる。
- 4月の議会運営委員会で進めることが決まって、今後検討していくこととなっています。
- 15項目出して、改革協議している。
- 重要事項の順番付けをして、検討に時間がかかっているだけで、ルールができればできます。
- 以前は、議会運営委員会は月に2回程度になってしまう。開催するように日程は調整している。
- やると決まっているので、ルールを作れば行えるので、他の検討事項を進めているので、議会運営委員会は月に2回程度になってしまう。
- 報酬審議会の答申は、議会に配られていない。

## 公共交通

(市民)

- わこばに乗ったら便利だった。乗客が少ない、本数が少なく時間が合わない。気軽に利用していただくならばどうしたらよいか。
- 東武バスの撤退問題は怎么样了のか。
- 運転手不足をどうするのか。
- 目が悪いので、公共交通のバスがよい方向に行って欲しい。

(議員)

- 他の自治体で、運行本数を増やしたら利用者が増えたという事例がある。
- 撤退については回避された。
- 運転手のなり手が無い。
- 外国人の運転手を雇っている事例がある。
- 良い方向に行くように、議会として議論していきたい。

## 公共交通計画

(市民)

- 公共交通計画において、和光市全体の交通体系について聞こえてこないが、どう考えているのか。また、運転手不足という問題があるが、例えば、ライドシェア、シェアサイクルなどがあるが、朝霞市や新座市などの公共交通計画をみていくことがある。和光市ではどのように取り組んでいるのか。
- 1~3月に実施したタクシー助成の実績、効果はどうだったのか。
- また、市民の声を取り入れて議会として提案していただきたい。
- 他の自治体で、運行本数を増やしたら利用者が増えたという事例がある。

(議員)

- 北側の議員だが、都市計画道路を整備して、そこから生活道路を整備していけばいいかなと考えている。
- 交通形態については、昨年、菰野町に視察に行った。民間のバスなどすべての交通体系を一元化。デマンド交通でタクシーを利用している。支払いもスマートフォンでやる、住民生活に密着した運営をしていた。このような事例を参考にすべきと考えている。高齢者もスマートフォンを利用するための学びを行っている。DXが進んでいた。
- 乗り合いタクシーの方が、CO2を削減できるのではないか。
- 目の前の現実のことをやらないで、理想ばかり追いかけてもどうかと思う。
- 循環バスについては、前回の見直しで、提案通りいかなかったが、利便性が高まったと思うが、市民団体の方たちが一所懸命やっていただいた。引き続きご意見をいただきたい。
- まちづくりを含めた全体のグラウンドデザインを考えていかなければならない。スマートシティということもあった。
- 議員や職員はエンジニアではないので、民間事業者の知見に頼らざるを得ない。

## 開催方法・フィードバック

(市民)

○なぜこれまでの報告会は平日の昼間ばかりだったのでしょうか。今回のように日曜日に開催すれば、現役世代も含め多くの意見が集まるはずです。特定の人しか参加できない運営ではなく、夜間開催や公民館への出張開催など、より多くの市民が参加し、議会の動きを知ることができる工夫を求めます。

○日曜日に参加できない人もいます。

○本日は活発な議論ができて良かった。しかし、大切なのは「話し合って終わり」にしないことです。今日出された意見が、いつ、どのような形で検討され、市政や予算に反映されるのか。そのプロセスを市民にしっかりとフィードバックし、信頼される議会・行政であってほしいと強く願います。

(議員)

○これまでも、休日夜間の開催はした。他イベントとの調整や役所利用者の利便性を考慮して平日中心でしたが、今回の日曜開催の活発な議論を見て、あり方を見直す必要性を痛感しました。今後は「夜間開催」や北側とか「場所の分散」を積極的に取り入れ、議会をより身近に感じ、誰もが意見を届けられる開かれた運営への改善を約束いたします。

○貴重なご意見をありがとうございました。本日頂いた全ての声は、議会として集約し、行政への提言や予算審査の重要な資料といたします。議論の過程はホームページや議会だより等でつまびらかにし、皆様の思いを形にするために一丸となって行動します。引き続き、いつでも率直なご意見をお寄せください。